

地域政策学部 地域イノベーション学科

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	主な授業科目 注；複数のポリシーと関係	アドミッション・ポリシー
①経済や経営の基礎理論を学ぶとともに、産業立地や地域経済に関する専門的知識を身につけ、日本や世界の諸地域の事情を知り、地域産業のイノベーションを惹起し、地域社会の変革を牽引する上で必要となる豊富な知識を修得している。	(1) 1年次には、外国語能力と情報リテラシーを確かにするために、英語と情報の科目、人文・社会科学、自然科学を幅広く学ぶ共通教育科目に加えて、経済学の基礎、経済統計などの専門科目を配置している。	一般教育科目（英語、情報科目を含む）	1. 高等学校で英語、国語の基礎学力に加え、数学・理科・地理歴史・公民・情報等の幅広い基礎学力を身につけている学生 2. 自分の考えを自分の言葉で表現できる学生 3. 地域の課題解決に興味や関心を持つ学生 4. 多種多様な人々と適切なコミュニケーションを図りながら、主体性を持って学修に取り組むことができる学生
	(2) 経済学の基礎や地域イノベーション入門などの専門基礎科目から、経済地理学、空間経済学、地域環境論、海外地域研究などの地域・空間に関わる専門応用科目・専門発展科目などの演習科目へと、地域政策に関する専門的知識を体系的に学べるように科目群を配置している。	専門基礎科目： （必修） 経済学の基礎A（ミクロ） 経済学の基礎B（マクロ） 地域イノベーション入門 専門応用科目： 経済統計入門 経営学入門 経済地理学 空間経済学 地域環境論 地域発展論 専門発展科目： 経営学基礎 マクロ空間構造論 空間計量経済学 海外地域研究A 海外地域研究B	
②地域データ分析における最先端の技術を学び、フィールドワークを通じて現実の地域社会を分析する能力を鍛え、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につけている。	(3) 1年次の初年次ゼミで、地域分析の方法を学ぶとともに、2年次の地域フィールド演習Ⅰでは、福井県内の特定の自治体を対象地域にして、グループに分かれて調査を実施し、報告書を作成する。3年次以降は、希望者のみになるが、地域フィールド演習Ⅱでは、国内の県外地域、地域フィールド演習Ⅲでは、海外を対象地域として実施し、フィールドワークを行う力量を	専門基礎科目： （必修） 初年次ゼミ 地域データ分析Ⅰ 地域データ分析Ⅱ 地域フィールド演習Ⅰ 専門応用科目： 地域フィールド演習Ⅱ 地域フィールド演習Ⅲ 専門発展科目： 地域データ分析Ⅲ 地域データ分析Ⅳ	

	高める。	実践英語Ⅱ 実践英語Ⅲ 実践英語Ⅳ	
	(4) 地域イノベーション学科の下に、学生の卒業後の主な進路を想定して、地域産業、地域創造、地域づくりの3つのユニットを置いている。2年次以降は、全学生がいずれかのユニットに所属し、専門の講義、地域データ分析や実践英語、フィールドワークを受講するとともに、演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、演習Ⅳ、卒業研究を通して、それぞれのユニットを担当する教員の指導を受けるなど、一貫した少人数教育を実施する。	専門基礎科目： (必修) 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 卒業研究	
③地域の課題を自ら見出し、課題解決に向けて、互いに協力して政策を立案し、その実現をめざして、地域の自治体や企業、住民の方々と協働する能力を身につけている。	(5) 各ユニットとも、「ユニットコア科目」、「ユニット発展科目」の2つの科目群からカリキュラムを構成し、専門性を高めると同時に、専門に関連する幅広い分野の科目を履修できるようにしている。また、地域の経済界、自治体等の方々と連携しながら、講義や演習を行い、実践的に地域の課題解決に取り組む。	専門発展科目： コーオブ実習 地域イノベーション特論Ⅰ 地域イノベーション特論Ⅱ 地域イノベーション特殊講義Ⅰ 地域イノベーション特殊講義Ⅱ ユニットコア科目： (詳細はシラバスに記載) ユニット発展科目： (詳細はシラバスに記載)	
	(6) 学修成果は、各授業科目のシラバスに示した授業の到達目標に応ずる到達度の評価方法・基準に従い、試験、実験、実習、論文、レポート等によって、到達目標と達成度に応じた厳格な成績評価を行う。		